

# おじょパワーでまちは元気

できることから コツコツと やってみなきゃ はじまらない

## 教育文化分科会テーマ「学び・参加、そして挑戦！」

教育文化分科会では、当初、学校をはじめとした教育問題について、さまざまな議論を重ねてきました。

しかし、「私達にできることは、何だろうか」と考えたとき、自ら実践しようと「あいさつ」運動を実践しました。

「子供は、親の背中を見て育つ」と言われます。大人が自ら率先することで、子供たちも多くのことを自然に学ぶのではないのでしょうか。

そのような考えから、教育文化分科会では次のことを提言します。

### 提言1 あいさつからはじまる町づくりを実践しよう。

〈私たちにできること〉

- 「子育ては親育て」大人が率先してあいさつをしましょう。
- あいさつからはじまる、仲間づくり、地域づくり、まちづくり

### 提言2 朝ごはんはんと生活リズムを大切にしよう。

〈私たちにできること〉

- 朝ごはんを必ず食べましょう。
- 「家族そろって朝ごはん」を実践しましょう。
- 子供の生活リズム表をつくってみましょう。  
(起床、勉強、遊び、就寝時間など)

### 提言3 世代間交流で地域を学ぶ豊かな子育て環境づくり。

〈私たちにできること〉

- 地域の行事には、親、子供、家族で積極的に参加しましょう。
- 高齢者とのふれあいを大事にしましょう。
- 地域の行事、伝統を子供たちに伝える場を提供しましょう。

\*子供のころに学んだことは一生の宝

これまでの活動を通して、女性の新しい仲間ができたり、横のつながりができ、楽しく活動できました。特に、この分科会で企画、運営した「教育講演会」はメンバー相互の連携、協力により実現し、他の分科会からも多数参加していただいたことに「やってよかった」と強く感じました。今後も多く女性が気軽に参加でき、意見を言い合える場、仲間づくりの場として、このような取り組みは大事なことです。女性パワーが発揮できる組織の継続を望みます。

〇〇教育文化分科会活動に参加して



教育文化分科会

男女共同参画シリーズ  
〈さつまおじょ元気会「提言」〉  
③

第3回目となる今回は、教育文化分科会から出された提言内容についてご紹介いたします。

次回は「生活環境分科会」の提言内容についてご紹介いたします。